



ひだまり便り

第78号 〈令和8年1月号〉
特定非営利活動法人
ひだまり
理事長 平井紳一

特定非営利活動法人ひだまり事務所…〒263-0005 千葉市稻毛区長沼町32番地

TEL 043-258-8604 FAX 043-310-5061

E-mail…hidamari@almond.ocn.ne.jp ホームページ…<https://www.hidamari.or.jp>

理事長より

ひだまり理事長 平井紳一

新年明けましておめでとうございます。

昨年を思い返しますと、先ずは暑かった！が率直な感想です。令和の米騒動と言われる米不足、価格の高騰がありました。また昨年の漢字を代表した“熊”が思い出されます。一方、久しぶりに日本人でノーベル賞のダブル受賞もありました。また新しい時代の幕開けと期待できる、日本憲政史上初女性の高市総理大臣が誕生しました。医療福祉関連支援の拡充や従業者待遇改善の方向も出されており、大いに期待したいところです。



今年は午年です。馬はその姿から美しく、俊敏で力強さを感じる方も多いのではないでしょうか。是非そのエネルギーにあやかりたいところです。また中国の故事に“人間万事塞翁が馬”と言う言葉があります。この故事には少し長い物語の筋書きがあるのですが要約すると、いろんな事が起きる中で、一喜一憂しないで、落ち着いて暮らしが大事という教えのようです。日本の教えでは“商いの心”があります。普段から地道にこつこつとakiな（あきない）で仕事をすれば信頼され商売が上手いく、だから商売をakiない（あきない）と言ふんだよ、と教えられた記憶があります。共通する心構えが有るように思います。

私達 NPO ひだまりも障がい者と一緒にいつも通り“明るく、楽しく、元気よく”をモットーに頑張っていきたいと思います。

皆様におかれましても、今年は健康で、明るい年になりますよう祈願しています。今年も宜しくお願い申し上げます。

HAPPY NEW YEAR 2026



ひだまりへのご寄付をお願いします！

NPO 法人ひだまりは、メープルリーフ利用会員だけではなく、父の樹会会員・ご家族の相談支援や権利擁護事業などを通して、皆様の『心の拠り所』になりますよう活動を進めています。近年は会員の高齢化に伴い『親なきあと』へのご相談も増えております。今後も永続的に活動する為には皆様のご支援が必要です。寄付の御協力いただける方は、ひだまり事務所までご連絡ください！

Tel:043-258-8604 担当:鈴木



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は千葉市より機会をもらい国の研修「中核的人材養成研修」に参加させていただいています。強度行動障害の方を支援していくうえで、国が今後どのような知識が必要と考え、どう地域で皆さんの生活を支えようとしているのかを半年間かけて学び、更なる実践に活かせるようにと考えています。

NPO ひだまりが長年取り組んでいる地域の課題の中に、「防災への備え」というものがあります。毎年9月にメープルつうしんでも触れていますが、当法人では大きな災害にどう備えるかという課題に取り組むため、東日本大震災が起きる前より「防災マニュアル～災害時に支援が必要な方のために～」を作成し配りしてきました。自事業所においても災害時対応マニュアルを毎年見直し必要な情報を更新し、備蓄のローリングストックも確認しながら、いつかくる災害に備えています。

この「防災マニュアル～災害時に支援が必要な方のために～」は、ひだまり HP の TOP ページから「ひだまり防災マニュアル」でどなたでもご覧になれます。

また災害の備えの中でも家庭内の食品備蓄をどうすればいいのかというお悩みを聞くことがあります。これについて、農林水産省が「(要配慮者のための)災害時に備えた食品ストックガイド」というものを発行しています。家庭備蓄の実践アイデアなども紹介されていますので、是非参考になさってください。

また、千葉市育成会が発行した「災害の備えハンドブック2024」はご存じでしょうか？ 当法人が作成したものとはまた別の視点で、かつ出来るだけたくさんの方が理解しやすいように「災害発生後どうしたらいいのか」といった情報が盛り込まれています。

私たちが支援する障害のある方たちは様々な事情から避難所の利用が危ぶまれ、実際に過去の熊本地震のアンケートでは多くの方たちが自宅や車などで避難生活を送ったようです。この結果を受け、避難所で過ごすことが難しい要避難者がいることの理解は以前よりも進んではいるものの、どう対応したらいいのかといった議論が進んでいるとは言えません。ご家庭でも一層の備えをしていただけるようお願いいたします。

